２０１８年度をかえりみて

２０１８年度理事長　坂　本　興　平

GROW UP

～一人ひとりが未来の希望～

一年間最高の素晴らしいメンバーに恵まれて本当に幸せでした。全員に心から感謝御礼を申し上げます。一年間大変ありがとうございました。

総務委員会

副理事長　島　村　豊　次

本年、総務委員会を初めて副理事長という立場で平山委員長を筆頭に各種定例会を運営させていただきました。五所川原青年会議所の一発目の事業、新年祝賀会を取り仕切る委員会として年末、年始忙しく準備していたのを思い出します。終わったかと思うと、次に控えている総会、選考委員会など委員会が行う事業としてはボリュームが沢山あった一年間でした。平山委員長は一切の愚痴もこぼさず自分の役職を全うしていました。その後ろ姿に総務委員会の委員は勿論、私も勉強になる部分が多々ありました。平山委員長や委員の皆様には感謝しています。今年の学びを来年度に生かせれるよう尽力してまいります。一年間ありがとうございました。

青少年育成委員会

副理事長　田　中　宏　明

本年、青少年育成委員会の副理事長を務めさせていただきました。振り返れば、５月に「わんぱく相撲地区大会」、７月に「わんぱく相撲全国大会」、「じょっぱりロード」、９月に「じょっぱりロード報告会」、その他、じょっぱりロードの「ボランティア研修会」や「参加者説明会」など、たくさんの経験をさせ

ていただき、それも委員会メンバーや会員、協力していただいた様々な方々のおかげと感謝しております。中でも「じょっぱりロード」は心に残る場面がたくさんあり、ふとした時にその情景が思い浮かべば、しみじみと懐かしんでいる次第です。

担当副理事長として至らない私が、大層な事は言えませんが、今年の青少年育成委員会は本当にがんばりました。入会間もない委員長が、五所川原ＪＣの３本柱の事業を担当する委員会をまとめ上げ、そして、やり切った事。委員会が同じ目的に向かって協力し合った事。たくさんの素晴らしい場面がありました。一年間、お付き合いいただき本当にありがとうございました。

まつり委員会　　副理事長　佐々木　邦　和

本年、まつり委員会を副理事長という立場で、また「奥津軽虫と火まつり」実行委員長として１年間活動してまいりました。４月定例会に始まり、親善大使事業、そして奥津軽虫と火まつりと對馬委員長を筆頭に委員全体で各種事業に取り組むことができたと考えております。１年を通じて、活発な委員会を行えたことをうれしく思うと共に、誇りに思っています。

２０１８年まつり委員会は最高でした！

１年間ありがとうございました。

まちづくり委員会　　副理事長　對　馬　央　也

今年度、まちづくり委員会担当副理事長を務めさせて頂きました。初副理であり委員長も初委員長という中で、市民討議会以外は初事業という先行き不透明な年初でしたが、時間が経つにつれ、委員の皆様が率先して事業のアイディアを出し合い、小野委員長を盛り上げ成功への道筋を作ってくれていました。それに応えた小野委員長には、確かなＧＲＯＷ　ＵＰが見て取れました。委員会全員で考え抜いた事業であればあるほど、成功したときの感動も一入。今年の初物づくしの委員会では、委員長を始め、委員の皆様には大変お世話になりました。副理基本方針に掲げた、関係諸団体との「協働の和」へと繋げることが出来たものと思います。これが「循環の輪」となり、まち全体による継続的な地域の活性化へと繋がることを願います。

最後に、まちづくり委員会の事業にご協力頂きました関係者並びに全会員の皆様、本当にありがとうございました。

会員拡大・交流委員会委員会　　副理事長　平　田　浩　介

今年度、会員拡大・交流委員会担当副理事長を務めさせて頂きました。

今年は、会員拡大で賞を取ろうと年当初から会員拡大に力を入れて参りました。新会員候補者リストの見直し、各委員会に候補者の情報提供を求めたり、ＯＢ交流会においてもＯＢの皆様に情報を頂いたりしながら拡大に力を注いで参りました。結果､理事長はじめメンバーの皆さんのご協力、そして何より葛西委員長の頑張りで全国１位を取ることが出来ました。また、ブロックでは、女性会員拡大１位、会員拡大１位を取ることが出来ました。皆様に、本当に感謝です。会員拡大・交流

委員会担当副理事長としての役目は終わりますが、これからも今年入会されたメンバーの皆さんのサポートはしていきたいと思います。

その他に「奥津軽虫と火まつり」では、総務部会長を務め、「じょっぱりロード」では設営部会、「市民討議会」ではファシリテータを務めるなど充実したＪＣ生活を送ることが出来ました。次年度も、今年に負けないくらい忙しくなると思いますが、気持ちを新たにして務めをまっとうして参りたいと思っております。最後に葛西委員長と会員拡大・交流委員会の皆様に心から感謝申し上げます。

委員会活動報告

総務委員会

構成メンバー

副理事長　　島村　豊次
委 員 長　　平山　稔洋
副委員長　　森下　洋光
委　　員　　川浪　剛功、川村　優弥、斎藤　宏樹、高松　一政、吉田　博貴、小山内　圭輔、成田洸太郎

基本方針

五所川原青年会議所は地域社会の健全な発展と次代のひとづくりによる「明るい豊かな社会」の実現を目的として創立され、諸先輩方から日々の五所川原青年会議所運動に邁進できる環境を作っていただきました。また、２０１２年に公益社団法人に移行し、青少年の健全な育成･地域社会の健全な発展等、高い公益性の維持と継続をしていく必要があり、確実な組織運営と公益社団法人としての責務を果たす必要があります。

そこで総務委員会では、公益法人制度を基に執行部との連携を図りながら、確実な組織体制を構築していき、新年祝賀会・総会・選考委員会委員選挙・各委員会が担当する定例会を円滑に執り行います。また、会員名簿・基本資料の作成、各委員会の情報を対外・対内へ向けてホームページやフェイスブックに掲載し、我々の運動を多くの市民へ広く知っていただきながら、当会各委員会の活動が積極的に行える環境を整えて参ります。

最後に、地域からの信頼を得る為に確実な組織運営を行い、当会の各委員会の運動を地域へ情報公開することにより、五所川原青年会議所が目指す「明るい豊かな社会」の実現に繋がることを確信し懸命に努めて参ります。

事業報告

○２０１８年度公益社団法人五所川原青年会議所新年祝賀会

開 催 日：平成３０年１月１３日（土）
開催場所：プラザマリュウ五所川原
参加員数：対外１１６人　対内２９人
事業内容：２０１８年度の「公益社団法人五所川原青年会議所」の新体制を紹介し、改めて感謝の気持ちを持ち、当会の運動・活動に対して更なるご理解をいただきながら今後の五所川原青年会議所運動を展開するにあたり、情熱を伝えることを目的とした祝賀会を開催することができた。

○２月通常総会

開 催 日：平成３０年２月２２日（木）

開催場所：プラザマリュウ五所川原
参加員数：対内３人
事業内容：２０１７年度の事業報告及び収支決算を承認し、２０１８年度の各事業を推し進めるための理解を深め、一年間青年会議所運動を展開していく事を目的として正会員による各議案事項の決議をすることができた。

○役員選考委員会委員選挙
開 催 日：平成３０年7月１８日（水）
開催場所：五所川原市民学習センター
参加員数：対内４８人
事業内容：役員選任規程第２条による次年度役員を選考する役員選考委員会を設置し、8名の委員をもって構成し、第３条４項に基づき、７月例会に於いて理事長並びに正会員たる理事長経験者を除く、正会員中より３名連記の無記名方式による選挙を行い、上位得票者より役員選考委員を選出することができた。

○９月通常総会
開 催 日：平成３０年9月２７日（木）
開催場所：プラザマリュウ五所川原
参加員数：対内４６人
事業内容：各々の役割を理解していただき、意識向上と共に責任感を持っていただくことを目的として、定款第４章第２７条～第２９条に伴い９月通常総会を開催し、各議案事項の決議を正会員より得ることができた。

○１２月定例会２０１８年度事業計画説明会並びにLOM内褒章授与式
開 催 日：平成３０年１２月１６日（日）
開催場所：プラザマリュウ五所川原
参加員数：対内３３人
事業内容：全ての会員が青年会議所運動に対しての理解と意識の向上を目的として、２０１９年度の基本計画、委員会事業方針及び事業計画、収支予算を全会員に周知する。また、全運動の中で功労者を称えることで、JC運動に対する意欲を高めることができた。

かえりみて

年当初の新年祝賀会をはじめとして、総会の開催、毎月の定例会の設営、SNS等での地域の情報発信と毎月のように活動が求められる総務委員会ですが、他委員会より影に隠れた存在でやりがいや達成感があるかどうか考えさせられました。

また、メンバーの退会や新入会員の配属があり、メンバーのモチベーションをどう保つか考えどう対応するべきか迷い、委員会に出席するメンバーが徐々に減っている中、副委員長が委員会を盛り上げてくれ、役割の割り振りを的確に行ってくれたり自分より委員長らしく、さらに入会間もないメンバーが

積極的に委員会に参加していただき、委員会はスムーズに進行することができ全ての事業は滞りなく行えてと思っています。時には自分のミスで二度手間となる委員会を開催しなければならなくなった際も、メンバーは愚痴ひとつ言うこともなく足を運んでくれ最後まで付き合っていただきました。この１年を通して如何にメンバーのモチベーションの向上・維持、出席してもらうことが大変なのか痛感しました。

ただ、影の存在であり簡単そうに見える総務委員会ですが、他委員会が安心して活動を行うことができるのは総務委員会があるからです。断言します。

副理事長をはじめ、何もすることができなかった私についてきてくれたメンバーには感謝です。

総務委員会は永久に不滅です。

青少年育成委員会

構成メンバー

副理事長　　田中　宏明
委 員 長　　柳澤　辰男
副委員長　　平田　ユキ子
委　　員　　山田　悟史、野上　新一朗、葛西　翔悟、川浪　晃矢、山田　瀧仙、宮川　麻美、
　　片山　真治

基本方針

今を生きる子ども達は、インターネットやスマートフォンなどの普及により、急速な情報社会の真っ只中にあります。それに伴い、家族や知人等とのコミュニケーション能力の低下や、価値観の多様化による心理的孤独等の影響を及ぼしております。このような時代だからこそ、責任ある私たち大人が、無限の可能性を秘めた子ども達の郷土を愛する心を育み、未来を切り拓き、創造力豊かな次代を担う大人へなれるよう導かなければなりません。

その為に当委員会は、無限の可能性を秘めた未来へ繋がる確かな一歩、そして「ＯＭＯＩＹＡＲＩ」の精神を伝えるべく、昨年に引き続き、徒歩修行「じょっぱりロード～ＯＭＯＩＹＡＲＩへの旅～」を開催致します。また、相撲大国である津軽地域の子ども達が、日頃の心身の鍛錬の成果を発揮できる場であり、人を思いやる気持ちや感謝の心を育む事を目的として、関係諸団体に協力を仰ぎながら「わんぱく相撲大会」を開催致します。

事業を通じて培った経験は、次代を担う子ども達を心豊かに「ＧＲＯＷ　ＵＰ」させ、必ずや今後の人生を照らす光となります。延いては「明るい豊かな社会」の創造に繋がるものと確信し、一年間邁進して参ります。

事業報告

○じょっぱりロード実行委員会設立

開 催 日：設立期間　平成３０年４月１日（日）～１２月３１日（月）
開催場所：五所川原市民学習情報センター
参加員数：第１回２４名　第２回２２名
事業内容：じょっぱりロードを開催するにあたり、会員全員が一致団結し内容を理解する事により、じょっぱりロード本番を成功へ導くために開催。

○８月定例会じょっぱりロード２０１８

開 催 日：平成３０年７月２６日（木）～７月２９日（日）
開催場所：高長根レクリエーションの森～岩木山～鯵ヶ沢～五所川原中央公民館
参加員数：正会員４４名　参加者２４名　ボランティア１５名
事業内容：３泊４日岩木山登山を含む５５ｋｍの徒歩修行の旅を通して、参加者並びにボランティアスタッフが、今まで経験した事のない感動や達成感、それら全てを自信に変えてもらいたい。

その経験が無限の可能性を秘めた子ども達の郷土を愛する心や、思いやりの精神を育む事を目的に開催。

○じょっぱりロード２０１８ボランティア研修会・ボランティアチラシ

開 催 日：チラシ配布　平成３０年４月１９日（木）～４月２３日（月）
第１回研修会　平成３０年６月２４日（日）　場所：五所川原中央公民館
第２回研修会　平成３０年７月　１日（日）　場所：学習情報センター
第３回研修会　平成３０年７月　８日（日）　場所：岩木山

参 加 員：第１回　正会員２２名　ボランティア１５名
第２回　正会員２４名　ボランティア１１名
第３回　正会員１５名　ボランティア１４名

事業内容：地域の高校・大学へチラシを配り参加者を募集する。その後３回にわたり研修会を行い、子ども達との接し方や注意事項、団結力をために開催。

○じょっぱりロード２０１８参加者説明会・参加者チラシ

開 催 日：チラシ配布　平成３０年５月１７日（木）～５月２１日（月）
参加者説明会　平成３０年７月１５日（日）

開催場所：五所川原市民学習情報センター

参加員数：正会員２５名　参加者２４名　ボランティア１３名

事業内容：地域の小学校へチラシを配り、募集いただいた子供たち並びに保護者の顔合わせや不安を取り除くために開催。

○じょっぱりロード２０１８事業報告会

開 催 日：平成３０年９月９日（日）

開催場所：五所川原商工会館

参 加 員：正会員２７名　参加者２１名　ボランティア８名

事業内容：８月定例会として開催した「じょっぱりロード２０１８～ＯＭＯＩＹＡＲＩへの旅～」に参加した子供達とボランティアスタッフが、久しぶりの再会やＤＶＤで旅の思い出を振り返り、より一層の友情や絆を深め、事業の成果を検証。

○５月定例会第３４回わんぱく相撲地区大会

開 催 日：平成３０年５月２０日（日）

開催場所：つがる地球村相撲場

参 加 員：正会員２０名　参加者３４名　弘前ＪＣ１０名

事業内容：弘前ＪＣと共同開催にて、全国大会出場をかけ地区大会を開催。

○第３４回わんぱく相撲全国大会

開 催 日：平成３０年７月２８日（土）～７月２９日（日）

開催場所：両国国技館
参 加 員：チーム津軽代表３名（五所川原２名　弘前１名）引率者２名
事業内容：わんぱく相撲全国大会へ地区大会優勝した子供たちの引率他。

かえりみて

当初違う方が委員長をやる予定がなぜか私に、理事長から打診をされる前に上司から決定と報告。こんな感じで入会２年目の私が、五所川原青年会議所でも重要な事業を行う青少年育成委員会の委員長へなることになりました。この１年を振り返ると大変忙しく騒がしかったと思います。何もわからない状態でしたが、副理並びに委員会メンバーに助けられ、事業を無事に完遂する事が出来たと思っております。それと共にＪＣメンバーの協力が不可欠な事業が多く、全てのメンバーに感謝申し上げます。１年間、ご協力大変ありがとうございました。

まつり委員会

構成メンバー

副理事長　　佐々木　邦和
委 員 長　　對馬　幸征
副委員長　　松谷　朋典
委　　員　　下川原伸彦、石田　潤、山田　恭嗣、鎌田　智行、島谷　昌孝、桑田　剛俊、
　　大澤　慎司

基本方針

私達が住み暮らす愛すべき故郷、奥津軽。ここ奥津軽で毎年開催されている「奥津軽虫と火まつり」は「天下泰平」「国家安泰」「五穀豊穣」「悪疫退散」の祈りを込めて本年度で４６回目を迎えます。地域の皆様のご支援ご協力賜わり、愛されてきたこのまつりも時代の変化や四囲の情勢により、一般参加者や参加団体の減少などの問題が懸念されています。先人達から伝承を続け伝統の燈火をこれから先も絶やすことなく、５０周年を見据えたまつりへ向けて、更なる発展と振興を行う必要があります。
この奥津軽の次世代を担う青少年や子ども達へ「奥津軽虫と火まつり親善大使事業」を開催し、まつりの目的と意義を伝承し、伝統文化の周知に努めるとともに、この事業へ参加した方々がまつりへ参加できる環境を作ることですそ野を拡大して参ります。そして、「会員がまつりの意義を学ぶ例会」を開催して、会員一人ひとりが目的や意義の再認をしていただき、去年開催された「まつりを考える事業」の事業結果を運営に反映しながら持続可能なまつりを構築して参ります。

地域の幸せとそこに住み暮らす人々の幸せを願うこのまつりを持続可能に構築することで、伝統の燈火を次世代に繋げ、５０周年を見据えたまつりへ昇華致します。そしてこの運動は、地域性溢れる「明るい豊かな社会」延いてはこの地域の「弥栄」に繋がるものと確信し一年間邁進して参ります。

事業報告

○４月定例会「～まつりを理解し後世へ繋げよう！！～」

開 催 日：平成３０年４月２０日（金）
開催場所：五所川原市民学習情報センター
参 加 員：会員数４８名（正会員４０名・仮入会員数８名）
事業内容：「奥津軽虫と火まつり」５０周年を見据えて、持続可能な事業の構築をしていく上で会員が事業の趣旨を理解し、意義や目的を明確に且つ再認識することで、当事者意識向上に繋がること更には事業への参加率向上に繋がる最大の契機と捉え、会員一人がまつりの意義を学び当事者意識を高めることを目的に開催致しました。

○奥津軽虫と火まつり親善大使事業

開 催 日：平成３０年４月上旬～６月下旬
開催場所：五所川原市内（大町～岩木川河川敷）
◇親善大使校説明会　　４月２７日（金）

・五所川原商業高等学校：１４名　　・五所川原第一高等学校：１６名
・五所川原工業高等学校：９名　　・五所川原農林高等学校：５名
・東北職業能力開発大学校附属青森職業能力開発短期大学校：５１名

◇紙芝居事業：５月２２日（火）～６月１２日（火）
・５月２２日　三好小学校　　：２年生　７名
・５月２４日　五所川原小学校　：３年生４６名
・６月　４日　東峰小学校　　：３年生２０名
・６月　５日　金木小学校　　：３年生３２名
・６月　６日　栄小学校　　：３年生６７名
・６月　７日　市浦小学校　　：４年生　９名
・６月　８日　南小学校　　：４年生３１名
・６月１２日　中央小学校　　：３年生５０名

◇マスメディア出演
ラジオ：５月３０日（水）～６月１３日（水）
テレビ番組「わっち」６月１２日（火）

◇市長表敬訪問：６月　７日（木）
五所川原第一高等学校：１名
五所川原農林高等学校：１名
五所川原商業高等学校：２名
東北職業能力開発大学校附属青森職業能力開発短期大学校：２名

参 加 員：会員数５４名（正会員４２名・仮入会員数１２名）

事業内容：昨年までは親善大使登録制で事業活動していたが、今年度から一人ひとり生徒の登録制から学校そのものを「親善大使校」と定めました。「奥津軽虫と火まつり」を学ぶ機会を創出することで、次世代を担う青少年や子ども達が目的や意義を学び知っていただき、「奥津軽虫と火まつり」の周知に努めるとともに、事業へ参加した方々がまつりへ参加できる環境を作ることで、すそ野の拡大に繋がる事を目的とし開催致しました。

かえりみて

４月定例会ではまつりの意義を学び、当事者意識を高めることでまつり事業に対するご理解とご協力が一層いただけるものと考えておりました。このような意識の醸成はやがて、５０周年を見据えた持続可能な「奥津軽虫と火まつり」の構築に繋がるものと考えております。今回、この様なまつりの外面・内面を中心に事業を構築した定例会を行い、これまで携わってきた理事や会員そして入会間もない会員に自分達が主管で行うという意識高揚に少しでも繋がったと思います。親善大使事業では「奥津軽虫と火まつり」開催に向け、今回から持続可能な構築を目指し各学校毎に「親善大使校」とさせていただきました。ＪＣメンバーが主管開催する伝統文化において、この住み暮らす地域の人達に若い力で積極的に取り組む姿勢を感じ取っていただいたことで、多くの方が感じている後継者不足や参加団体減少などの問題を少しでも払拭することができました。「奥津軽虫と火まつり」に参加できる環境を作ることで、すそ野の拡大に繋がり当事者意識をもっていただく運動が巻き起こる機会になったと思います。

「奥津軽虫と火まつり」の５０周年を見据えて今年も行った親善大使事業ですが、少しでも興味を持った子ども達が次世代へ伝承していけるよう更に努力をしていかなければならないと思いました。

年間を通し、委員長として委員をうまくまとめきれなかった部分が多々ありましたが、虫と火まつりも無事に成功に終わり、なによりも会員や先輩諸兄の皆様の御陰様だと思っております。活動や運動はひとりではできない、改めて気づかされた１年間でした。

１年間ありがとうございました。

まちづくり委員会

構成メンバー

副理事長　　對馬　央也
委 員 長　　小野　顕成
副委員長　　神　康知
委　　員　　豊澤　孝行、佐々木　篤史、福士　裕朗、石川　恭裕、棟方　大輝、西野　寧一

基本方針

青森県西部に広がる津軽平野は、自然の厳しさや四季の移ろいを感じられる豊かな大地です。その大地に抱かれる五所川原は地域に根付いた文化や産業があり、そこに住む「ひと」からは温かさが感じられる魅力ある「まち」です。しかし、近年の「ひと」の減少により「まち」の活気が失われ、地域のもつ文化や産業の素晴らしさが影を潜めております。我々はこの問題を解決すべく､地域に住み暮らす｢ひと」と共に積極的なまちづくり運動による地域の活性に取り組まなければなりません。
その為には、市民一人ひとりが前向きな社会参画意識を抱いていただけるよう、市民が意見を交わし合い、その結果を市政に報告することのできる「五所川原市民討議会」を今年度も開催します。また、津軽地域の発展に貢献する企業・団体と手を取り合い、五所川原の文化・産業の持つ「いろどり」を市民に発信する定例会を開催し、企業･団体による継続的なまちづくり運動への参画意識を醸成することで、多年にわたる協働の和へと繋げ、地域の発展を目指して参ります。
この地域に住み暮らす「ひと」そして地域に貢献する「企業・団体」と共に、前向きな社会参画意識による積極的なまちづくり運動を展開することで、「明るい豊かな社会」の実現に繋がるものと確信し、一年間職責を果たせるよう邁進して参ります。

事業報告

○事業「みんなで作ろう 五所川原 ねぶた列車　～「まち」の魅力発進！～」
開 催 日：製作　平成３０年７月１６日（月)、運行　平成３０年８月４日（土）
開催場所：製作　立佞武多の館、運行　五所川原市商店街
参加員数：対外８１人　対内３０人
事業内容：手持ちりんご提灯とねぶた列車を製作して、参加者に自分達の住む「まち」の文化・産業の魅力を学んでいただきました。そして、製作したねぶた列車で、８月４日に行われた五所川原立佞武多の運行に参加しました。参加者は手持ちりんご提灯を片手に「やってまれー」の声を上げながら、ねぶた列車を観客にアピールし、１０月定例会の周知を行いました。

○平成３０年度五所川原市民討議会
開 催 日：平成３０年８月２６日（日）
開催場所：五所川原市役所　１階　市民の土間
参加員数：対外３０人　対内２３人
事業内容：地域の人口流出・流入の課題を共有して、五所川原市のこれからを市民が主体的に意見し合

いました。市民のまちに対する前向きな意識が高まると共に、市政に市民の声を届けることができました。

○１０月定例会～まちの「いろどり」発信～

開 催 日：平成３０年１０月２８日（日）

開催場所：JR 五所川原駅前

参加員数：対外８００人　対内３３人

事業内容：五所川原のもつ文化・産業の魅力を、体験を通してより多くの市民の方に知っていただけるブース出展をしました。

①子虫づくり体験 ②立佞武多しおり製作体験③ステージブース

④１００周年記念ジャンボりんご提灯製作体験

⑤立佞武多しおり製作体験

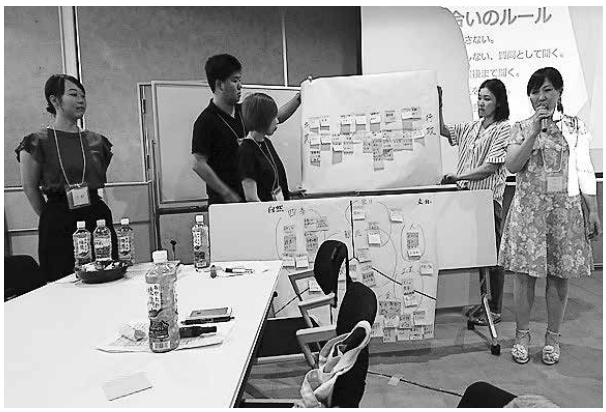
本事業を会員と協力団体と一致団結して行った結果、文化・産業の持つ「いろどり」を十分に表現することができ、また、本事業に協力していただいた方からは「このような機会があればまた協力したい」という、まちづくりの意識が生まれました。

かえりみて

本年度は市民のまちに対する前向きな関わり合いと、社会参画意識の醸成をテーマとして１年間取り組んでまいりました。委員長をやらせてくださいと理事長に駆け寄ったことがきっかけで委員長に就任し、何もわからない状態からのスタートでしたが、チームの支えのなか事業に取り組んで参りました。その中で、今回の市民討議会は人口流出・流入という、市の抱える難しい課題をテーマにしたため、参加者が活発に意見し合えるように、委員会内で様々な小テーマでシミュレーションをいたしました。その結果、討議会に参加した人からは「いろんな人と討議出来てとても良かった。今日話された意見がまちに反映されてほしい」という言葉を多数いただき、市民の社会参画意識の醸成に繋がる市民討議会となりました。

そして、初開催となるねぶた列車制作・運行の事業では、参加した子供たちが思ったよりも佞武多に関わったことがないことを知り、その子たちが思い思いに佞武多を製作して、それを祭りで運行している姿を見てこの事業をやって良かったと心から思いました。立佞武多で周知した１０月定例会の事業はたった１日で終わりましたが、計画と準備が大変で、実施まで１年間かかりました。新しいことに取り組むことの大変さを味わった分、協力してくれる方のありがたみを心から感じることができました。１０月定例会に参加した市民の方の充実感に満ちた表情を見て、本事業に取り組んでよかったと心から思います。

みんなで作ろう五所川原ねぶた列車
～「まち」の魅力発進！～



会員拡大・交流委員会

構成メンバー

副理事長　　平田　浩介
委 員 長　　葛西　良樹
副委員長　　成田　若菜
委　　員　　高橋　尚裕、木村健太郎、花田憲一郎、平山　智久、高橋　渓太、佐々木秋子、
　　葛西　　喬、伊藤　康太、小野耕太郎、平山　厚生、館山　美良

基本方針

近年、私たちの地域においては、若者の地元離れや県外流出による人口減少が続いています。その中には２０歳から４０歳の今後の地域を担っていく青年も少なくありません。人口減少に伴い、会員数の減少は「明るい豊かな社会」を作っていく為には大きな問題となります。地域をより良く発展させていく為にも、会員拡大に最大の重点をおき、拡大を進めていかなければいけません。また、同時に会員相互の協調性と会員個人のスキルアップを当会全員で取り組んでいいかなければならないと考えます。

その為に、私たちメンバーが今あるＪＣ活動を語り、会議所の必要性、魅力を発信していく場として、先輩諸兄のお力をお借りしながら、会全体で会員相互、入会対象者の交流会を行い、拡大に力を注いでいきます。また、新入会員並びにメンバー全員が個人のスキルアップ、資質向上、目的意識の向上を目指すセミナーを開催し、会員個人、当会全体で、更なる発展と地域の未来に繋がる人材の育成に努め「ＧＲＯＷ　ＵＰ」していきます。

会員一人一人の資質向上が今後地域を担う人材育成となります。また、会議所の魅力を発信し、拡大運動をすることが会員拡大へつながり、当会の発展へ繋がります。更には、地域発展に繋がり「明るい豊かな社会」へ続くと信じ、一年間邁進して参ります。

事業報告

○３月定例会「会員拡大の意義」

開 催 日：平成３０年３月２２日（木）
開催場所：五所川原市民学習情報センター１階
参 加 員：対内４０人
事業内容：会員拡大の必要性を会全体で考え、LOMとしてどうあるべきかを勉強していくことを目的とし、講師として毎年拡大率33％を維持している宮城県泉青年会議所より東北地区会長の渡部洋平君を講師としてお招きし拡大の意義と大切さをお話しいただきました。

○会員拡大事業

開 催 日：理事会承認後通年
開催場所：五所川原青年会議所・定例会・総会・各種事業
参加員数：対内５２名
事業内容：会員へ拡大活動の増進・当事者意識を浸透させることを目的とし、

①全委員会拡大担当者に入会リストを手渡し、入会リストの説明、現段階の候補者との関係性（仕事・友人・知人など)性格な年齢などの情報収集をする。
②先輩諸兄に挨拶に行きリストを確認してもらい情報収集する。
③他団体とお互いの情報交換をする。
④会員拡大・交流委員会で拡大リストを精査して、訪問出来る日時など段取りを組む。
⑤入会案内をうながし訪問やアクションを起こす。

○ＯＢ交流会

開 催 日：平成３０年５月２８日（月）
開催場所：イズミボーリング　　一心亭
参加員数：会員１８名　仮入会員６名　シニア１０名
事業内容：各事業でお世話になっている先輩諸兄と親睦を深めることにより、これからの事業の協力をしてもらうことを目的とし、ボーリング・懇親会を通じて親交を深め、今後の事業への協力をお願いする場とすることが出来ました。

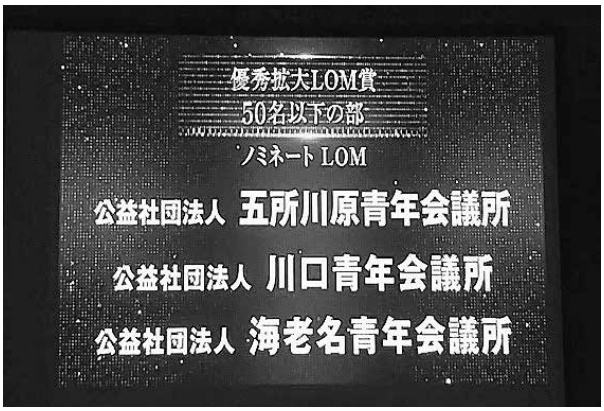
○新入会員セミナー

開 催 日：第一回５月２２日（火）　第二回１０月１８日（木）
開催場所：五所川原市民学習情報センター　会議所事務局
参加員数：会員１５名　新入会員１５名
事業内容：新入会員の方々に青年会議所の趣旨や目的を理解して頂き、自分のあり方・目的を持って活動して頂く事を目的とし、入会して間もない会員に青年会議所の基礎的知識や活かし方、楽しさを学んでもらい今後の青年会議所活動のきっかけにすることが出来ました。

○１１月定例会「知識がゼロでも決算書がよめるようになる！！」

開 催 日：平成３０年１１月１５日（木）
開催場所：五所川原市民学習情報センター１階
参加員数：対内３６人
事業内容：資質向上の一つとしてまずは、自身の会社の経営状況をしっかりと把握しできるようになる。今後この地域を担っていく人材になっていく為にも、しっかりと自分の会社を理解しどうあるべきかを勉強していくことを目的とし、会員の田中文貴君に講師として「知識がゼロでも決算書がよめるようになる！！」というテーマの元、講演をしていただきました。

かえりみて

２０１８年度、坂本興平理事長の元、会員拡大・交流委員会の委員長を務めさせていただきました。この委員会の最大の目的である会員拡大において、３０名の拡大に成功し、全国大会で５０人以下のＬＯＭの中で１番を取ることが出来ました。これも委員会メンバー、会員全体で取り組んできた証だと思います。これにおごることなく、新入会員のバックアップをしていきながら、活動していきたいと思います。

至らない点、多々ございましたが一年間、ご協力をいただき、本当にありがとうございました。感謝